

## 株式情報

### IRカレンダー

第52期（平成21年4月～平成22年3月）

4月			
5月	第51期 決算発表・決算説明会		
6月	第51回 定時株主総会 経営報告会 有価証券報告書提出	11月	第52期 第2四半期決算発表・決算説明会
8月	第52期 第1四半期決算発表	2月	第52期 第3四半期決算発表
		3月	31日 第52期 決算日

### 株主メモ

株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同送付先・連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 全国本支店

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

基準日 3月31日

その他必要がある時は、取締役会の決議をもって予め公告いたします。

配当金受領株主確定日 3月31日及び中間配当金の支払を行うときは9月30日

公告掲載方法 電子公告により行う。  
やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は日本経済新聞に掲載する。

URL <http://www.showashinku.co.jp>

JASDAQ

証券コード:6384

One vanguard of the digital revolution

## 第51期報告書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)



「光と電波」情報通信・デジタル家電を支える昭和真空



ULVACGROUP

株式会社 昭和真空



本社・相模原工場認証取得

本社・相模原工場  
〒229-1124 神奈川県相模原市田名3062-10  
TEL.042-764-0321 FAX.042-764-0329  
URL <http://www.showashinku.co.jp>  
(証券コード:6384)



株式会社 昭和真空

# 昭和真空は、真空技術をキーテクノロジーとした電子部品用薄膜形成装置メーカーです。

## 経営方針

- 1 成長するニッチ市場へのフォーカス
- 2 技術力による差別化と独自性発揮
- 3 徹底したコストダウンによる低価格実現

## 真空技術

真空技術は携帯電話やデジタルカメラなど様々なハイテク最終商品を作るうえで必要不可欠ですが、真空技術で最終商品を直接製造しているわけではありません。例えば携帯電話には根幹部品として温度補償水晶発振器 (TCXO) が組み込まれていますが、その水晶発振器を作る工程で真空技術応用装置が使用されているのです。他にもカメラのレンズ、様々な光学フィルタ、液晶表示パネルなどを製造する際にも真空技術応用装置が使用されています。



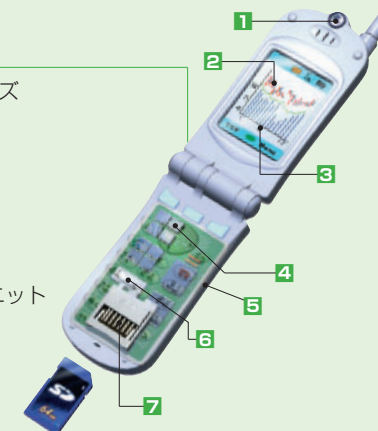
## 当社の装置で作られる部品例

Example of parts made with our device

# 携帯電話からデジタル家電・自動車まで幅広い分野に当社の技術は活かされています。

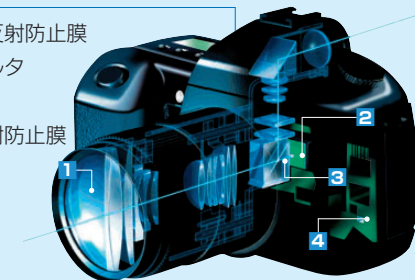
### 携帯電話

- 1 デジタルカメラレンズ
- 2 反射防止膜
- 3 液晶表示板
- 4 SAWフィルタ
- 5 電磁波防止膜
- 6 水晶デバイス
- 7 ブルートゥース ユニット



### デジタルカメラ

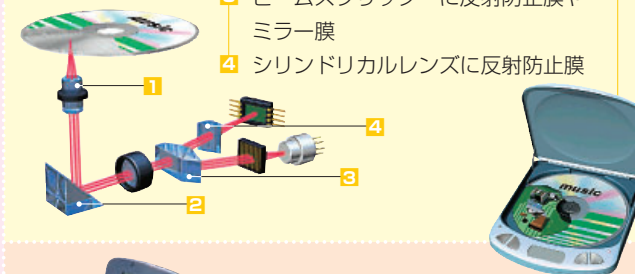
- 1 交換レンズに反射防止膜
- 2 ローパスフィルタ
- 3 プリズムにミラー膜・反射防止膜
- 4 水晶デバイス



### 光ピックアップ

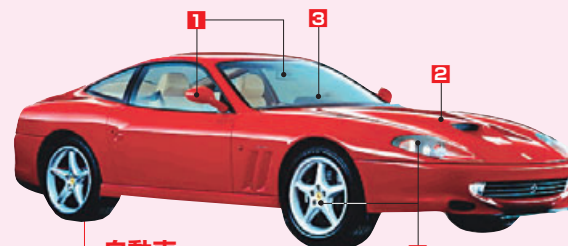
(CD・DVD・BDプレーヤーなどの駆動装置に内蔵)

- 1 対物レンズに反射防止膜
- 2 プリズムにミラー膜・反射防止膜
- 3 ビームスプリッターに反射防止膜やミラー膜
- 4 シリンダリカルレンズに反射防止膜



### 自動車

- 1 光学薄膜による高性能化  
・自動防眩ルームミラー (ルームミラー)  
・レインクリアリングミラー (ドアミラー)
- 2 水晶デバイスによる高精度電子制御  
・エンジン制御 ・トランスミッション制御 ・サスペンション制御  
・ステアリング制御 ・ABS制御 ・定速走行制御 ・4WS制御  
・カーエアコン制御 ・電子式メーター制御 ・エアバッグ制御
- 3 水晶デバイスによる情報・通信機能  
・自動車電話 ・マルチインフォメーションシステム (TV, CD, MD, DVD)  
・カーナビゲーション (GPS) ・ITS関連 (VICS, ETC)
- 4 薄膜加工による装飾・高性能化  
・アルミホイール ・ヘッドライトの反射鏡



### パソコン

- 1 液晶表示板
- 2 水晶デバイス
- 3 電磁波防止膜
- 4 ファイル装置の光ピックアップ (CD-R/RWなど)



**Q** 当期の業績についてお聞かせ下さい。



**A** 当連結会計年度における我が国経済は、米国におけるサブプライムローン問題に端を発した景気の後退が顕著となり、特に年度後半は世界的な金融市場の混乱や株価下落、急激な為替変動による影響が实体经济に波及し、企業収益の急激な悪化、設備投資の減少、雇用情勢の悪化及び個人消費の減少など、今までになく厳しい景気後退局面となっております。

当社を取り巻く電子部品業界におきましても、当期前半においては欧州やアジアの比較的底堅い需要がありましたが、欧米においては自動車産業の不況の影響が強まり、日本においては産業機器などの需要の低迷に加えて自動車関連需要が急減し、アジアに

においてもデジタル機器等の生産調整により、第3四半期以降急激な受注減少傾向が続いており、同業界の設備投資計画の凍結や先送りが顕著となりました。また、携帯電話の生産台数の不振から水晶デバイス業界においても設備投資計画の凍結や先送りが相次ぎました。

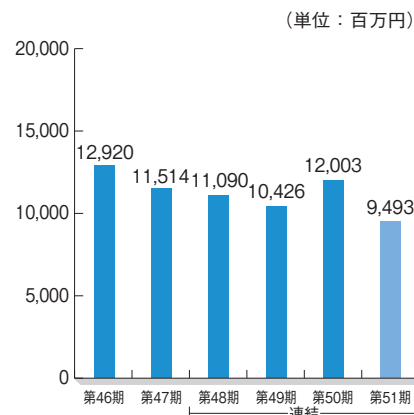
こうした環境の中、当社グループは、積極的に受注・販売活動を行ってまいりましたが、受注面では厳しい状況が続きました。一方、次世代エネルギー分野である太陽光発電関連のビジネスは年度を通して盛り上がりを見せており、当社装置に対しても引き合いが旺盛で、当社も積極的に対応してまいりました。また、子会社であります株式会社エフ・イー・シーが製造販売いたします「マグトラン（歯のない歯車）」の販売も好調でした。

この結果、当連結会計年度の業績は、受注高109億22百万円、売上高94億93百万円となりました。また、損益につきましては、経常利益2億66百万円、当期純利益1億30百万円となりました。なお、株主様への配当は12円といたしました。引き続きご支援をお願い申し上げます。

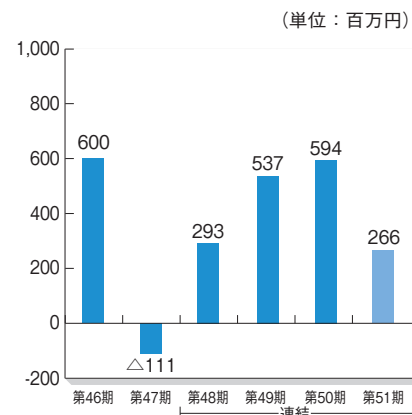


代表取締役社長 小俣 邦正

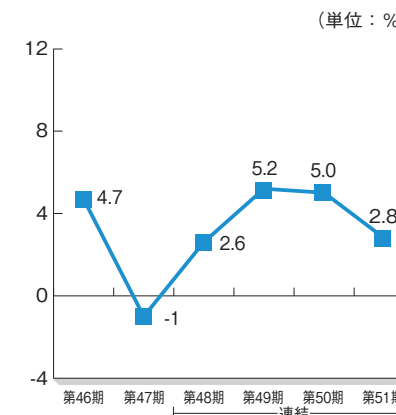
**売上高**



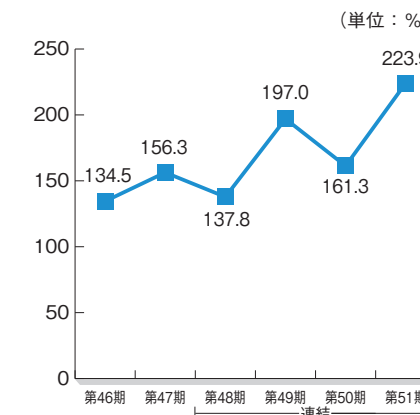
**経常利益**



**売上高経常利益率**



**流動比率**



Q 事業環境及び動向についてお聞かせ下さい。

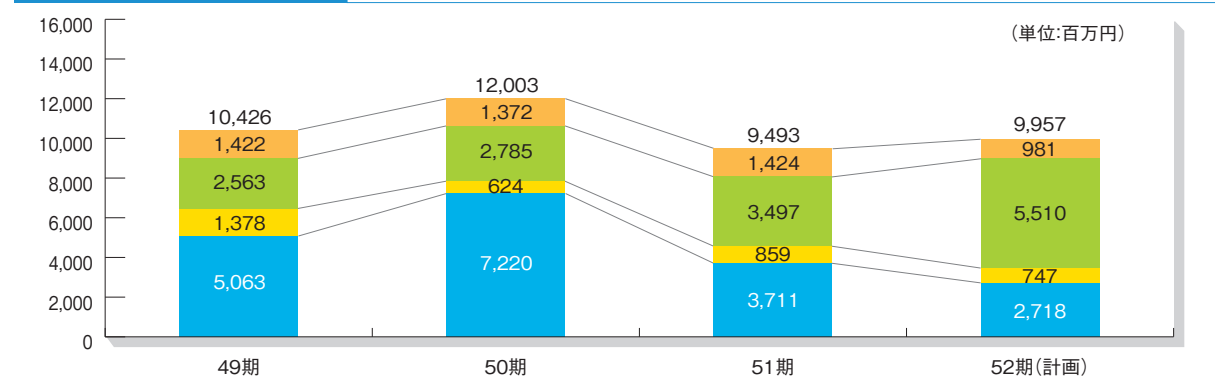
A 今後の見通しにつきましては、昨年秋以降急速に広がりを見せた世界的な景気後退の影響が通期に渡ると予想されます。自動車業界、デジタル家電業界におきましては、大幅な生産調整の動きが顕著でありましたが、在庫調整の動きはピークを越えたものと思われれます。また、日本を始め世界各国の景気拡大策が次第に効果を表し、次期の後半からは緩やかに需要が拡大するものと期待されます。

当社グループの製品品目別にみると、水晶デバイス業界は、厳しい状況が続くものと予想されますが、携帯電話の在庫調整も進み、水晶デバイスの生産も1~2月をボトムに回復基調にあり、設備投資についても海外を中心に夏場以降上向きに転じ、回復してくるものと期待されます。しかしながら、製品単価が低下しており、これに伴い装置への値下げ要請も強まってくるものと予想され、今後は更なるコストダウンが課題となってくると考えられます。

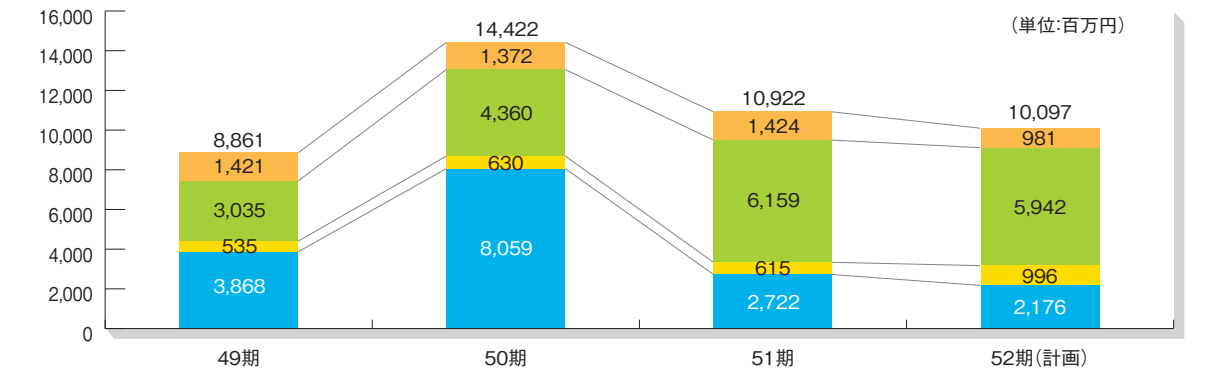
光学部品業界も、同様に厳しい状況が続くものと思われれます。当社グループとしましては、ここ数年この分野において低迷しておりましたが、当期市場に投入した高性能新型装置を積極的に販売していきたいと考えております。

電子部品業界においては、引き続き厳しい状況が予想されますが、デジタル家電、自動車などが次期の後半から緩やかに回復するものと思われれます。また、太陽光発電関連ビジネスは、米国オバマ大統領のグリーンニューディール政策や政府によるグリーンエネルギーの買取価格強化などにより、追い風が吹くと思われ、当社グループとしましても、積極的に太陽光発電製造装置の受注活動を行っていききたいと考えております。

品目別売上高 (連結)



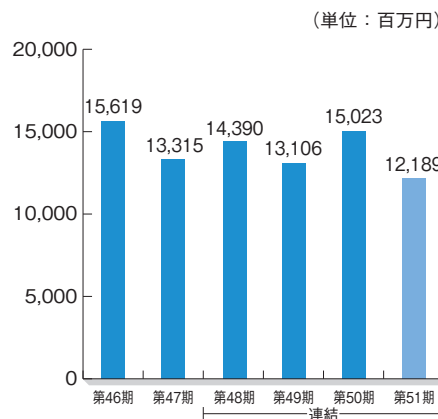
品目別受注高 (連結)



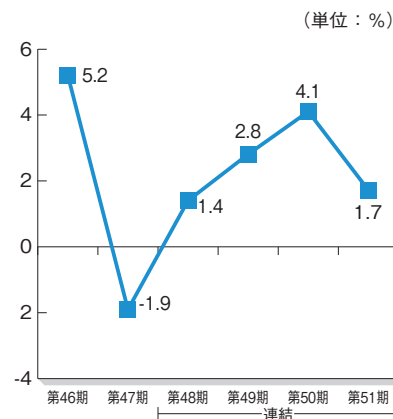
平成22年3月期業績計画 (連結)

	平成21年3月期実績	平成22年3月期計画
売上高	9,493	9,957
経常利益	266	109
当期純利益	130	47

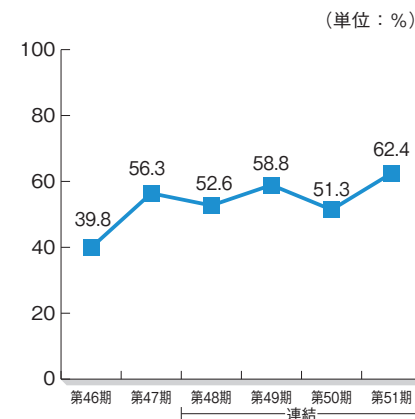
総資産



株主資本利益率 (ROE)



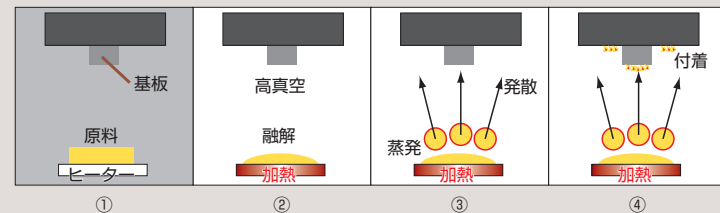
株主資本比率



真空を利用した高度な成膜技術が、多くの分野で求められています。

真空蒸着

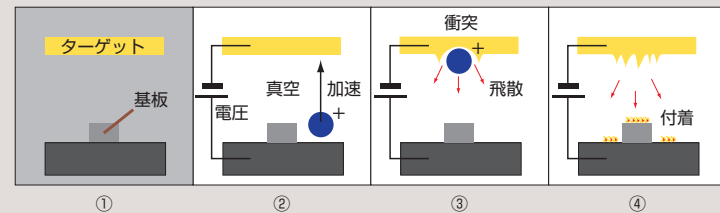
真空中で特定の物質を熱し、そこから蒸発する原子や分子をより温度の低い面に凝縮させて、基板に薄膜を形成する技術



(応用・用途)  
水晶振動子、多層膜光学フィルタ反射防止膜、光学ミラー、自動車用ミラー、有機ELディスプレイ画素etc.

スパッタリング

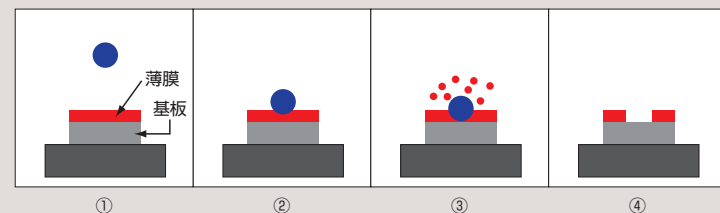
放電によってできたプラズマの中のイオンを加速して材料（ターゲット）にぶつけ、材料（ターゲット）から叩き出された原子によって基板に薄膜を形成する技術



(応用・用途)  
水晶デバイス、SAWデバイス、CD・DVD・Blu-ray反射防止膜、磁気ヘッド、磁気テープ、透明導電膜etc.

イオンエッチング

加工対象物（基板上的の薄膜）の表面に、電界により加速したイオンを照射することで、基板上的の薄膜を部分的に除去する技術



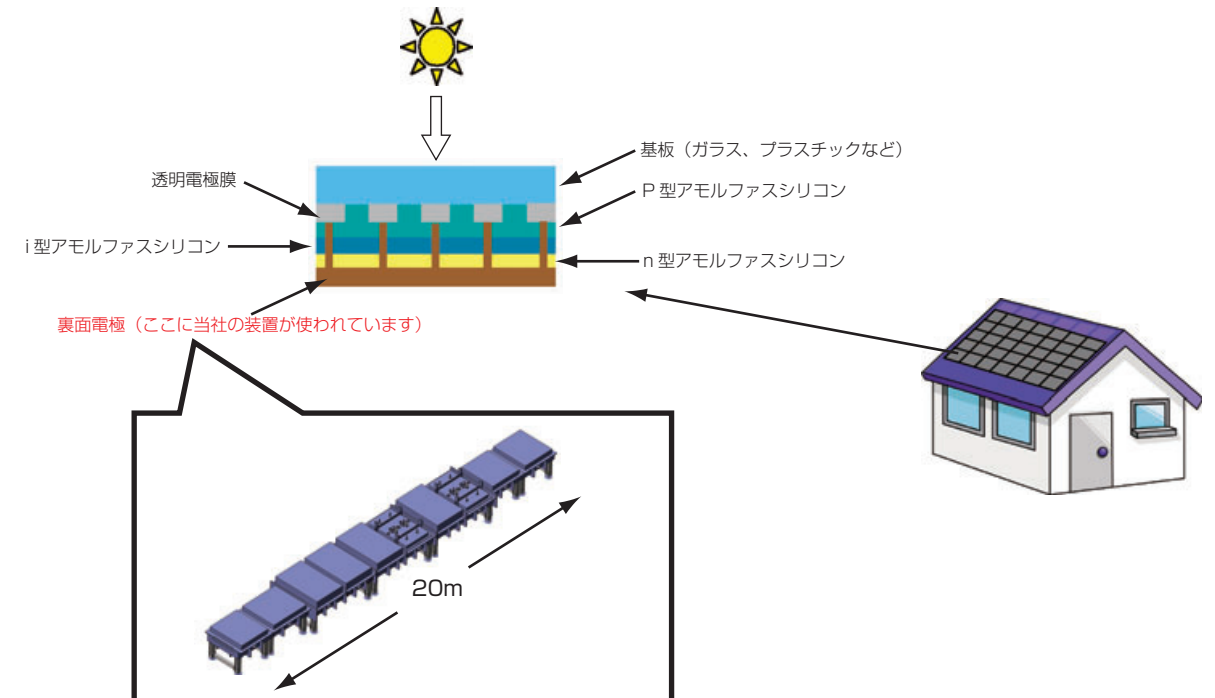
(応用・用途)  
液晶ディスプレイ微細加工、LSI微細加工、バイオチップ加工、MEMS加工etc.

真空技術を駆使し、環境ビジネスにも取り組んでいます。

薄膜シリコン太陽電池メーカー向けに、太陽電池セル生産工程の裏面電極形成に用いるスパッタリング装置を製造・販売しています。

薄膜シリコン太陽電池セルの断面イメージ

(標準寸法 1,100 mm × 1,400 mm)



裏面電極形成用大型スパッタリング装置 (イメージ図)

その他結晶シリコン太陽電池セルの反射防止膜形成装置なども製造・販売しています。

## 連結貸借対照表(要旨)

	(単位：百万円)	
	第51期 平成21年3月31日現在	第50期 平成20年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	<b>6,567</b>	9,372
固定資産	<b>5,621</b>	5,651
有形固定資産	<b>5,120</b>	5,257
無形固定資産	<b>171</b>	62
投資その他の資産	<b>329</b>	331
<b>資産合計</b>	<b>12,189</b>	15,023
<b>負債の部</b>		
流動負債	<b>2,932</b>	5,811
固定負債	<b>1,651</b>	1,508
<b>負債合計</b>	<b>4,584</b>	7,320
<b>純資産の部</b>		
株主資本	<b>7,631</b>	7,613
資本金	<b>2,177</b>	2,177
資本剰余金	<b>2,753</b>	2,753
利益剰余金	<b>2,978</b>	2,940
自己株式	<b>△278</b>	△258
評価・換算差額等	<b>△26</b>	89
<b>純資産合計</b>	<b>7,604</b>	7,703
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,189</b>	15,023

## 連結損益計算書(要旨)

	(単位：百万円)	
	第51期 自 平成20年4月 1日 至 平成21年3月31日	第50期 自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日
売上高	<b>9,493</b>	12,003
売上原価	<b>7,463</b>	9,562
売上総利益	<b>2,029</b>	2,440
販売費及び一般管理費	<b>1,767</b>	1,726
営業利益	<b>262</b>	713
営業外収益	<b>71</b>	37
営業外費用	<b>67</b>	156
経常利益	<b>266</b>	594
特別利益	<b>4</b>	0
特別損失	<b>66</b>	5
税金等調整前当期純利益	<b>204</b>	589
法人税、住民税及び事業税	<b>41</b>	338
法人税等調整額	<b>31</b>	△68
当期純利益	<b>130</b>	319

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

	(単位：百万円)	
	第51期 自 平成20年4月 1日 至 平成21年3月31日	第50期 自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>△1,003</b>	1,562
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>△130</b>	△235
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>△12</b>	△1,088
現金及び現金同等物に係る換算差額	<b>△22</b>	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<b>△1,169</b>	242
現金及び現金同等物の期首残高	<b>2,330</b>	2,088
現金及び現金同等物の期末残高	<b>1,161</b>	2,330

## 貸借対照表(要旨)

	(単位：百万円)	
	第51期 平成21年3月31日現在	第50期 平成20年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	<b>6,142</b>	9,027
現金及び預金	<b>1,001</b>	1,852
受取手形及び売掛金	<b>1,765</b>	4,096
棚卸資産	<b>3,071</b>	2,345
その他流動資産	<b>305</b>	733
固定資産	<b>6,022</b>	6,020
有形固定資産	<b>4,863</b>	4,961
無形固定資産	<b>143</b>	26
投資その他の資産	<b>1,016</b>	1,033
<b>資産合計</b>	<b>12,165</b>	15,048
<b>負債の部</b>		
流動負債	<b>2,848</b>	5,792
支払手形及び買掛金	<b>2,167</b>	4,736
短期借入金	<b>250</b>	—
その他流動負債	<b>431</b>	1,055
固定負債	<b>1,623</b>	1,464
<b>負債合計</b>	<b>4,471</b>	7,256
<b>純資産の部</b>		
株主資本	<b>7,685</b>	7,729
資本金	<b>2,177</b>	2,177
資本剰余金	<b>2,753</b>	2,753
利益剰余金	<b>3,032</b>	3,056
自己株式	<b>△278</b>	△258
評価・換算差額等	<b>7</b>	62
<b>純資産合計</b>	<b>7,693</b>	7,791
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,165</b>	15,048

## Point.

## 流動資産

受取手形及び売掛金が減少しました。  
また、現金及び預金が減少し、棚卸資産が増加しました。

## Point.

## 流動負債

支払手形及び買掛金が減少しました。  
また、短期借入金が増加しました。

## Point.

## 株主資本

自己株式を追加取得しました。

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第51期 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	第50期 自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高	9,168	11,785
売上原価	7,366	9,521
売上総利益	1,802	2,264
販売費及び一般管理費	1,622	1,567
営業利益	180	697
営業外収益	74	47
営業外費用	65	150
経常利益	189	593
特別利益	4	0
特別損失	82	38
税引前当期純利益	111	555
法人税、住民税及び事業税	6	330
法人税等調整額	36	△70
当期純利益	69	295

Point. 1

売上高  
前期と比較して22%減少しました。

Point. 2

売上原価  
前期と比較して23%減少しました。

Point. 3

売上総利益  
売上高総利益率は19.2%から19.6%に若干改善しました。

Point. 4

営業利益・経常利益・当期純利益  
前期より減少しました。

グループ会社

昭和真空機械(上海)有限公司

- ・所在 中国上海市
- ・主な事業内容 当社装置の生産

昭和真空機械貿易(上海)有限公司

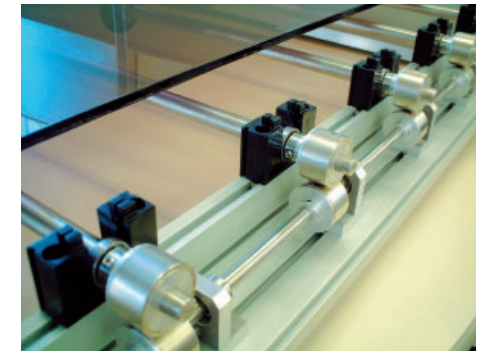
- ・所在 中国上海市
- ・主な事業内容 中国における当社装置のサービス・メンテナンス

株式会社エフ・イー・シー

- ・所在 埼玉県狭山市
- ・主な事業内容 マグトラン(歯のない歯車)の製造・販売

株式会社SPT

- ・所在 神奈川県相模原市
- ・主な事業内容 当社顧客の依頼による光学薄膜の実験及び研究

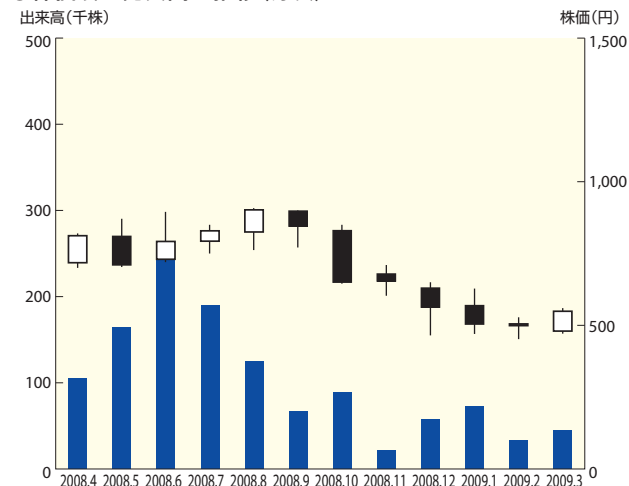


## ■株式の状況 (平成21年3月31日現在)

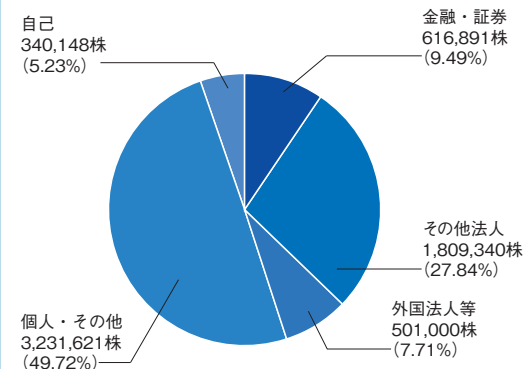
●発行可能株式総数	13,800,000株
●発行済株式の総数	6,499,000株
●株主数	2,602名
●大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
株式会社アルバック	1,329,500 株	21.58 %
小 俣 邦 正	567,600	9.21
有限会社小俣興産	391,640	6.35
株式会社昭和真空	340,148	—
ドレミ トレーディング サブダイアリー カンパニー エルティ	315,500	5.12
昭和真空従業員持株会	296,052	4.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	240,000	3.89
パークレイズ バンクピーエルシー パークレイズ キャピタル セキュリティーズ	168,100	2.72
日本生命保険相互会社	144,000	2.33
小俣佳子	120,000	1.94
小俣輝明	120,000	1.94
小俣みつこ	120,000	1.94
株式会社みずほ銀行	96,000	1.55
株式会社横浜銀行	96,000	1.55

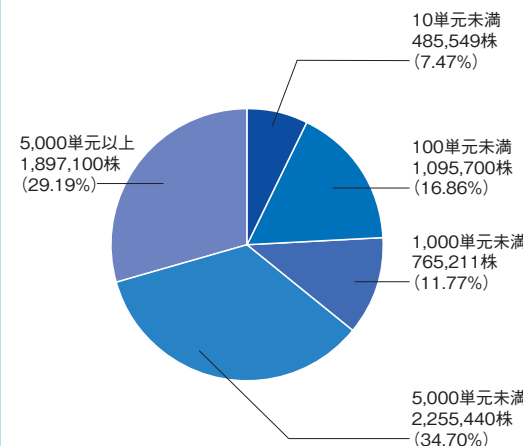
## ●株価及び売買高の推移(月次)



## ●株式の所有者別状況(株式数)



## ●株式の所有数別状況



## ■会社概要

商 号	株式会社昭和真空
設 立	1958年(昭和33年)
資 本 金	2,177,105,200円
従 業 員 数	195名
営 業 種 目	水晶デバイス用、光学薄膜用、電子デバイス用などの総合的な真空関連装置並びに真空機器等 真空蒸着装置、スパッタリング装置、イオンエッチング装置、イオンプレーティング装置、ドライエッチング・アッシング装置、真空冶金(溶解、熱処理、焼結、脱ガス)装置、光学薄膜用モニター(多色式、単色式)、IAD冷陰極イオンソース、液晶注入装置、有機EL用蒸着装置、その他
取 引 銀 行	三菱東京UFJ銀行 横浜銀行 みずほ銀行 三井住友銀行 城南信用金庫

## ■事業所

本社・相模原工場	〒229-1124 神奈川県相模原市田名3062番地10 TEL.042-764-0321 FAX.042-764-0329
営業所・大野台第二工場	〒229-0011 神奈川県相模原市大野台五丁目16番41号 TEL.042-754-1331 FAX.042-758-1052
大野台パーツセンター	〒229-0011 神奈川県相模原市大野台二丁目27番2号 TEL.042-768-8952 FAX.042-768-8957

## ■グループ会社

昭和真空機械(上海)有限公司(中国・上海)  
昭和真空機械貿易(上海)有限公司(中国・上海)  
株式会社SPT(神奈川県相模原市)  
株式会社エフ・イー・シー(埼玉県狭山市)

## ■関係会社

Sansei-Showa Co.,Ltd.USA(米国・オハイオ州)

## ■役員 (平成21年6月26日現在)

代表取締役社長 執行役員	小 俣 邦 正
専務取締役 執行役員	坂 地 藤 五 郎
取締役 執行役員	小 泉 保 雄
取締役 執行役員	村 岡 眞 史
取締役 執行役員	市 川 正
取締役 執行役員	高 橋 理
取 締 役	小 田 木 秀 幸
常 任 監 査 役	藤 原 陸 男
監 査 役	千 葉 睿 一
監 査 役	常 見 佳 弘
執 行 役 員	久 島 博 美
執 行 役 員	田 中 彰 一